

民間活力をいかした中央公園再整備方針（案）【概要版】

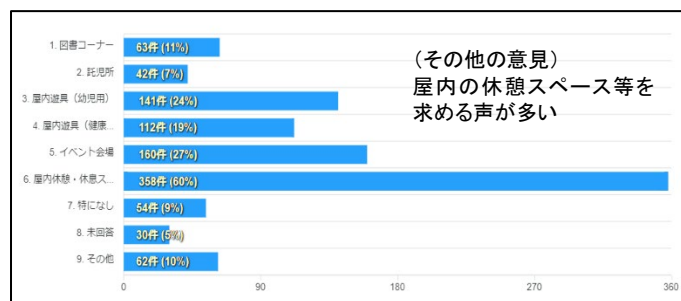
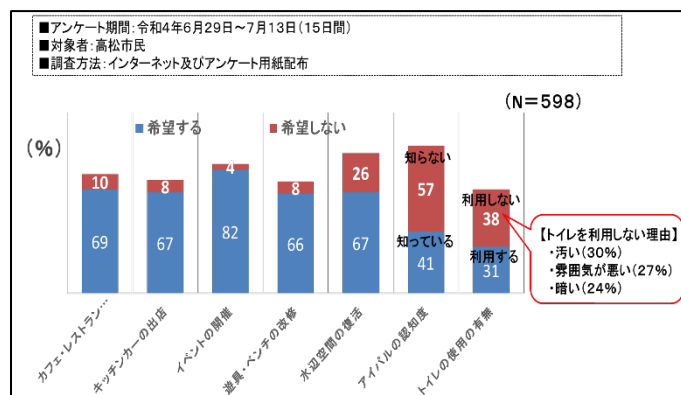
I はじめに

民間事業(カフェ等)から得られる収益の一部を公園整備等に還元する公募設置管理制度(Park-PFI)が創設され、全国各地で、魅力的な公園が誕生。市民アンケート調査の結果では、中央公園にカフェ・レストラン等を求める意見が多数。

■公募設置管理制度(Park-PFI)について(2017年創設)



■アンケート調査の結果



II 現状と課題

中央公園は、供用開始後、36年以上が経過し、施設全体の老朽化が進んでいる。また、密集した樹木が壁となり閉塞的な公園となっていることや、大規模イベントを開催するにもオープンスペースが狭いという課題がある。

- 【アイパル香川】公園との連携・一体化
- 【遊具・休憩施設】老朽化・閉塞感
- 【オープンスペース】有効スペースが狭く、イベント会場として使用しにくい
- 【樹木】樹木が壁となり、閉鎖的。全体的に暗く、近寄り難い雰囲気。衛生害虫の苦情もある。
- 【トイレ】老朽化・バリアフリー化
- 【植栽帯・段差】人の流れの阻害要因
- 【環境悪化】落書き、不法投棄
- 【水辺空間】現在未利用で、修繕が必要

III 再整備方針

中央公園の再整備にあたっては、本市が目指すべき都市像や市民アンケート調査の結果等を踏まえ、再整備のテーマや設計コンセプトを以下のとおり設定する。

【再整備のテーマ】 「人と人」「人とまち」「人と未来」をつなぐ、都市の顔となる公園

【魅力向上のための3つの取組】

- 【取組1】民間事業者による魅力向上・賑わい創出
○カフェ・レストラン、キッチンカー、物販など
- 【取組2】公園施設の再整備
○トイレ・花壇・照明等改修、バリアフリー化、景観整備など
- 【取組3】市民等への開放
○公園利用のルール化、利用制限の緩和、ボランティア活動の推進、大学連携など

【設計コンセプト】

- 【設計コンセプト①】既存ストックの活用
- 【設計コンセプト②】周辺道路と連続性のある動線確保と周辺との視覚的つながりの創出
- 【設計コンセプト③】園内は区切り・段差を減らし、解放感のある空間を創出

IV 再整備イメージ

再整備では、民間によるカフェ・レストランの設置や市民イベントの開催、高質化・イメージアップ、樹木整理、水辺空間やトイレ等の改修、公園バリアフリー化、アイパル香川との連携などに取り組むイメージ。

注) 下図は、他都市の事例等を参考に作成した現時点の整備イメージです。実際は、民間事業者決定後、関係者等との協議を経て、具体的な整備内容を取りまとめ、予算の範囲内で、順次実施していくことになります。

- アイパル香川との連携 (多文化共生の取組・屋内休憩スペース等)
写真: アイパル香川HP
- 物販・飲食店
写真: ガーデンレストラン(Enlee)提供
- バリアフリー化・身障者用駐車場
写真: 高松市立りんくろスポーツ公園
- 市民イベント開催
- 高質化・イメージアップ
- 老朽施設(遊具等)の改修
写真: 国営越後丘陵公園HP
- トイレ改修
写真: 横浜市HP(大場かやのき公園トイレ)
- 水辺空間改修
写真: 高松港管理事務所HP
- 樹木整理
写真: 福岡大学提供(菅園公園)

参考事例1 福岡市警固公園(公園再整備による都市景観の向上)

福岡市の警固公園は、施設の老朽化が進み、暗がりや人目から死角となる場所が多いなど防犯上の問題が指摘されておりましたが、再整備によって子供達や家族連れ等が訪れる明るい公園に様変わりし、都市のイメージが向上しました。

福岡市警固公園【整備前】



福岡市警固公園【整備後】

①新たな動線の創出による利用改善



②樹木整理による見通しの改善



【警固公園の設計の考え方】

- ・見通しの確保
- ・公園と公園周辺の双方向に開放された動線の確保
- ・公園をセットバックし、前面歩道を拡幅
- ・目につきやすい場所へトイレを移設

写真：福岡大学工学部景観まちづくり研究室提供

参考事例2 豊島区立南池袋公園(公園再整備による都市景観の向上)

南池袋公園は、都心の好立地をいかし、公園内に魅力的な店舗を誘致することにより、質の高い憩いの場と新たな賑わいを創出しました。

豊島区立南池袋公園【整備前】



豊島区立南池袋公園【整備後】



豊島区立南池袋公園【整備後】



写真：豊島区公園緑地課提供